

<白金標準先物、新甫 6 月限は 4148 円に向けた戻り相場>



(出所：オアシス)

中国自動車工業会 (CAAM) よると、7月に発表される 2021 年の自動車販売は前年比 6.5% の伸びを示す公算であると指摘し、中国政府が示す自動車排ガス規制強化に伴う「チャイナ 6」の施行も 7月であり、今年の新エネルギー車 (NEV) 販売は 46% 増え 200 万台を超えると予想され、電気自動車 (EV) のシェアは 2025 年までに 20~25% に達する可能性があると言及している。

そのため白金標準先物は、FOMC を受けて先週は 3617 円まで下値を模索したが、2018 年から 2019 年の年間レンジで示していた高値 3600 円に届いた事から抵抗を示し、3952 円まで戻りを見せている。特に 7月には中国の需要要因が控えており、4000 円を回復すると FOMC 以前の高値 4148 円まで戻りを示す可能性は高いと予想される。

(2021 年 6 月 27 日記載)

<テクニカル>

MACD では、MACD が切り上げだしシグナルは下げ渋る動きを見せ、MACD とシグナルの乖離を示すヒストグラムは縮小するなど、基調の転換に向けた動きを示している。

また RCI において短期が長期で抵抗を見せて反発しており、峠を越えた可能性は高くなっていると思われる。新甫 6 月限は 4000 円へ向けた上昇が期待されると思われる。

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 675,190 (前週比-24,010)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 74.96 (前週比-0.06)